

著者紹介

渡辺 正 Watanabe Tadashi

厚生連海南病院緩和ケア病棟部長、医学博士。

昭和41年名古屋大学医学部卒業、昭和42年名南会名南病院、昭和48年愛知県がんセンター外科第3部、昭和51年Fels Research Institute (Philadelphia)、昭和52年Sloan-Kettering Cancer Center (New York)、昭和55年名古屋大学医学部第2外科(医員)、昭和62年同上助教授、平成3年藤田保健衛生大学七栗サナトリウム外科教授、(平成7年～15年)同上病院長、平成15年11月厚生連海南病院緩和ケア病棟部長。

研究歴・専門分野：消化器外科、癌化学療法、癌免疫療法、現在 緩和ケア。

所属学会：日本外科学会、日本癌学会、米国緩和医療学会。

遠藤登喜子 Endo Tokiko

国立病院機構名古屋医療センター放射線科部長、医学博士。

昭和48年3月名古屋大学医学部卒業、4月名古屋掖済会病院研修医、昭和49年4月同内科、昭和52年4月愛知県がんセンター病院放射線診断部、平成2年10月名古屋大学放射線医学講座、平成3年4月同講師、平成5年7月同助教授、平成7年4月国立名古屋病院放射線科第一医長、平成16年4月国立病院機構名古屋医療センター放射線科部長

研究歴：マンモグラフィ読影診断および教育に関する研究、マンモグラフィのCADシステムの開発、乳がん検診のあり方に関する研究など。

専門分野：画像診断 特に、乳房画像診断。

所属学会：日本医学放射線学会、日本超音波医学会、日本乳癌検診学会。

鈴木 敦詞 Suzuki Atsushi

藤田保健衛生大学医学部内科学内分泌代謝科講師、医学博士。

昭和63年3月名古屋大学医学部卒業、4月名古屋第一赤十字病院勤務、平成3年7月静岡済生会総合病院内科勤務、平成8年3月名古屋大学大学院医学研究科修了、10月スイス連邦ジュネーブ州立大学医学部内科学講座骨疾患部門研究員兼非常勤講師、平成11年4月名古屋大学医学部内科学第一講座客員研究者、平成13年9月現職。研究歴・専門分野：名古屋大学大学院在学中・スイス連邦留学中を通じ、骨芽細胞を用いた基礎的研究を行い、帰国後は特に骨基質および動脈硬化部位での石灰化に関わるリン輸送体の制御機構について仕事を続けている。同時に糖代謝・ビタミンD代謝との関わりを中心とした骨粗鬆症の臨床的研究も行

っている。

所属学会：日本内分泌学会、日本骨代謝学会、日本骨粗鬆症学会。

吉岡健太郎 Yoshioka Kentaro

藤田保健衛生大学消化器内科助教授、医学博士。

昭和54年3月名古屋大学医学部卒業、4月名古屋第一赤十字病院、昭和57年4月名古屋大学医学部付属病院、昭和59年12月米国ニュージャージー医科歯科大学、昭和61年7月名古屋高等裁判所医務室、昭和62年12月名古屋大学医学部助手、平成10年7月同講師、平成16年6月より現職。

研究歴：肝炎の免疫学的機序、アルコール性肝障害のマロリー硝子体。

専門分野：肝炎ウイルスの変異と病態、ウイルス性肝炎の治療。

所属学会：日本内科学会、日本消化器病学会、日本肝臓学会。

富田 政明 Tomita Masaaki

愛知県厚生農業協同組合連合会海南病院循環器内科部長、医学博士。

昭和55年岐阜大学医学部卒業、昭和58年国立循環器病センターレジデント、昭和63年サウスカロライナ医科大学循環器科研究員、平成14年愛知県厚生連海南病院循環器内科部長。研究歴・専門分野：心機能について心エコーを用いた拡張能の研究をした。心カテ、心カテーテルアブレーションを約10年前より施行している。臨床循環器科(Interventionを用いた)を専門とする。

所属学会：日本内科学会、日本循環器学会、日本超音波医学会。

臼田 俊和 Usuda Toshikazu

社会保険中京病院皮膚科主任部長。

昭和48年名古屋大学医学部卒業、昭和51年社会保険中京病院皮膚科・形成外科医員、昭和60年同皮膚科部長、昭和64年同皮膚科主任部長、平成10年名城大学薬学部客員教授(～平成14年まで)、平成11年名古屋大学医学部臨床教授、現在に至る。

研究歴：熱傷患者の自己抗体、熱傷の局所治療法、シェーグレン症候群に伴う皮膚症状と自己抗体。

専門分野：膠原病、皮膚外科、皮膚悪性腫瘍の治療、熱傷、アトピー性皮膚炎。

所属学会：日本皮膚科学会、日本リウマチ学会、日本形成外科学会

鷺見 幸彦 Washimi Yukihiko

国立長寿医療センター外来診療部長、
社会復帰支援室長、医学博士。
昭和62年飯田市立病院内科医長、平成
2年名古屋大学神経内科、平成5年名
古屋掖済会病院神経内科医、平成9年名古屋掖済会
病院神経内科部長、平成11年10月国立療養所中部病
院神経内科医長、平成16年3月国立長寿医療センタ
ー外来診療部長、6月社会復帰支援室長を兼任。
研究歴・専門分野：神経内科、内科、痴呆症の臨床。
所属学会：日本神経学会、日本内科学会、日本痴呆
学会。

林 富士雄 Hayashi Fujio

せとぐち内科院長、医学博士。
1976年3月名古屋大学医学部卒業、4
月名古屋掖済会病院研修医、1977年4
月静岡済生会病院医員、1980年7月名
古屋大学医学部第一内科医員、1985年5月市立岡崎
病院神経内科部長（現岡崎市民病院）、1989年4月
碧南市民病院神経内科部長、1991年11月愛生会上飯
田第2病院副院長、1992年10月尽誠病院副院長、1993
年8月せとぐち内科院長、現在に至る。
研究歴・専門分野：神経内科。
所属学会：日本内科学会、日本神経学会。

小林 一弘 Kobayashi Kazuhiro

岩屋病院精神科。
昭和62年5月浜松医科大学卒、昭和63
年7月静岡東病院・てんかんセンター、
平成元年10月浜松医科大学精神科助
手、平成4年9月榛原総合病院、平成7年9月浜松
医科大学精神科助手、平成9年4月岩屋病院。
研究歴・専門分野：犯罪精神医学
所属学会：日本精神医学会、日本犯罪学会。

三木 隆治 Miki Ryuji

豊橋メイッククリニック理事長、日本腎
臓病学会専門医、日本透析療法学会認
定医、日本内科学会認定医、ニホンブ
ライマリケア学会認定医。
昭和41年名古屋大学医学部卒業、昭和
56年クリニック豊橋開設、平成8年豊橋メイックリ
ニック開設、現在に至る。
研究歴：現在「自然発症2型糖尿病モデルSDTラ
ットに対するサリドマイド投与の効果」を豊橋技術
大学と共同研究中（「第48回日本糖尿病学会年次学
術集会」に発表予定）。
専門分野：腎・糖尿病・プライマリケア
所属学会：日本腎臓病学会、日本糖尿病学会、日本
プライマリケア学会

【お詫びと訂正】

「明日の臨床」2004Vol.16No.1（前号）の著者紹
介（P.49～50）のうち、小池茂文氏のご略歴につ
きまして誤りがありました。お詫びして下記の通り
に訂正させていただきます。

小池 茂文 Koike Shigefumi

豊橋メイッククリニック睡眠医療センター、医
学博士。昭和55年岐阜大学医学部卒業、昭和
55年岐阜大学医学部第1外科入局、62年岐阜
大学医学部第1外科助手、平成元年岐阜県立
岐阜病院胸部外科医長兼救急救命センター胸部外科医長、2
年国立療養所豊橋東病院呼吸器科医長、8年国立療養所豊橋
東病院呼吸器科医長兼心臓血管外科医長、10年豊橋メイック
クリニック副院長、14年豊橋メイッククリニック院長兼睡眠
医療センター長。

専門は、心臓血管外科、透析医療、睡眠医療
特に人工呼吸器・人工腎臓・人工心臓・人工血管など人工臓
器が専門。

平成8年・9年厚生省研究班冠動脈疾患に対する低侵襲治療
研究班に所属

最近の主な研究テーマは

- ①睡眠時無呼吸症候群（睡眠呼吸障害）
- ②透析患者の睡眠障害
- ③透析患者の周期性四肢運動障害
- ④透析患者のレストレスレッグ症候群
- ⑤透析患者の睡眠呼吸障害

所属学会：透析学会、睡眠学会、糖尿病学会、呼吸器学会、
循環器学会
外科学会、消化器外科学会、心臓血管外科学会、血管外科学
会、胸部外科学会